

北渡島檜山圏域における難病対策の目指す姿

難病患者・家族が自分らしく安心して生活できる地域



<方向性>

適切な医療

- 早期に診断され、適切な医療が受けられる
- 専門医↔地域医との連携
- 地域による医療格差の解消
- 在宅と病院をつなぐ訪問看護の提供
- 身体機能の維持を支えるリハビリの提供



安心できる生活

- 身体状況に応じたサービス利用
- 本人の望む生活の実現に向けた生活支援（インフォーマル含む）
- 患者家族のQOLの向上
- 災害への備えの強化



療養生活支援

- 専門医と地元医療機関医師との連携促進
- 各町単位でのケア体制の構築
- 関係職種との連携により、資源の少ない地域をカバー

相談体制の充実化

- 在宅療養患者の生活を理解し、療養支援の力量形成（個別事例を通じた学び、学習の機会の提供）
- 各町と連携した災害への備え

災害対策